

平成29年度「特色ある学校づくり対策事業」実践報告

佐世保市立祇園中学校

所在地 佐世保市祇園町14番12号

校長 松本 正彦

生徒数 1年生124名 2年生108名 3年生111名 総計343名

学級数 10クラス 特別支援学級2クラス 全学級12クラス

1 学校経営ランドデザイン



## 2 目的

学校教育目標の具現化のために、以下の目的を設定した。

- (1) 新しい立地条件を生かした教育の展開を図り、豊かな感性や人間としての在り方生き方などを学ばせる。
- (2) わかる授業の展開や、授業法の改善、朝読書の推進、学習案内を用いた家庭学習との連動など基礎学力の定着を図る。
- (3) 専門家による保健や性についての講演を通して「健康教育」の推進にあたる。
- (4) 各種講演会を実施し、保護者への啓発活動の展開を図りながら家庭教育との連動を図る。
- (5) 開かれた学校を目指し、保護者・地域と連携し、地域の中核としての機能の充実を図る。
- (6) 本物にふれる教育に取り組み、地域人材を活用した「伝統文化学習」を推進する。

## 3 実践内容

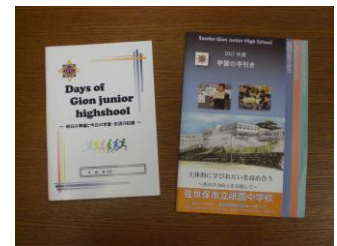
### (1) 学力向上の推進・図書館教育の推進

- ① 学びの連続性と、基礎・基本の定着や家庭学習の習慣化に向けて、授業改善に取り組むとともに、各家庭には「学習案内」（学習の手引き）を配布し、学習の習慣化を推進した。

また、「Days（生活の記録ノート）」を作成し、日々の記録をとらせ、家庭学習のルーティン化を図った。

特に「Days（生活の記録ノート）」は、毎日の短学活を中心に細かく生徒に記入をさせ、家庭でも活用を促したことから、家庭学習のルーティン化を図ることができた。

こういった取組から、生徒の学力も向上している。また、個々の生徒の学習のスタイルも定着しつつある。



Days(左)・学習案内(右)

- ② 言語活用能力向上の一助として、図書利用を活発化させるために、保護者から「図書ボランティア」を募り、環境整備等を含め利用しやすい図書室運営に取り組んだ。本年度は11名の方に図書ボランティアに登録をいただき、学校司書、図書担当職員との連携を図り、読書活動の推進を行っている。

図書ボランティアには、季節ごとの図書室掲示や装飾に取り組んでいただくと共に、ブックフェスティバル（影絵の読み聞かせ会・佐世保出身の絵本作家の講演会等）を実施し、図書館教育の充実に努めた。

さらに、授業と学校司書の連携を図り、図書館を活用した授業を実践しながら、多機能に活用する図書館経営の推進に努めた。



季節感ある図書室の装飾(左)  
影絵の読み聞かせ(右)

### (2) 豊かな心の育成の推進

- ① あいさつ運動・ペットボトルキャップ収集

本校では、生徒会を中心に「朝のあいさつ運動」「ペットボトルキャップ収集」等の奉仕・ボランティア活動に取り組んでいる。ペットボトルキャップの収集においては、毎月生徒会朝会で集計結果を発表し、熱心に取り組んだ学級の表彰を実施している。収集したキャップは地域の企業に持参し、ポリオワクチンの購入に役立ててもらっている。

② 豊かな心を育む講演会の実施（いのち・人権・平和）

6月のいのちを見つめる強調月間のいのちの講演会をはじめ、本年度は、6.29平和集会の際には、佐世保空襲について、語り部の方にご講演をいただいた。

8.9平和集会では、原爆や戦争と平和に関する発表を行うとともに、長崎原爆記念式典にあわせ黙祷し、長崎県民、日本国民として、過去のこの日をより身近なものとして認識し、二度と戦争や原爆で苦しむことがない平和な世の中をつくる心をはぐくんだ。

12月の人権集会では、本年度は生徒活動を中心とした人権集会を実施し、生徒一人一人が身近にある人権を守ることの大切さを再認識し、一人一人の個性を尊重することの大切さを学びとった。



6.29平和集会

③ 「いのちを見つめる」一斉道徳授業の公開

6月1日（木）「いのちを見つめる強調月間」の取組の一つとして、「生命の尊重」を題材に、各学年で一斉道徳を行った。現在の生活を見つめ直し、自他のいのちの大切さについて考えを深める学習に取り組んだ。

④ 職場体験学習

11月20日（月）～11月22日（水）の3日間、第2学年で職場体験学習を実施した。市内41箇所の各事業所にご指導をいただきながら、実際に職場の方の話を聞き、その業務を体験することで、働くことの意義を考え、将来を見据え、目標をもって生活することの大切さを学ぶ貴重な機会となった。



第2学年 職場体験学習の様子

(4) 防犯教育の推進

① 情報モラル学習会

7月3日（月）、県メディア安全指導員を講師に招き、講話をいただいた。中高生が陥りやすいスマートフォンや携帯電話等の危険性を十分に把握し、利便性を生かした活用を学ぶことのできた講演会となった。

② デートDV被害防止・性教育講演会

12月19日（火）、助産師会から講師を招聘し、性教育講演会（デートDV被害防止）を実施した。講演会をとおして、中学生としての「ふさわしい男女のあり方」を学んだ。

③ 薬物乱用防止教室

11月24日（金）、保護司会から講師を招聘し、講演会を行った。

講演会をとおして、薬物の恐ろしさや危険性を再認識するとともに、自分自身の体や命を守ることを体感することのできる機会となった。



薬物乱用防止教室の様子

(5) 地域交流

10月14日（土）、「プレイパーク」（中学校区健全育成協議会主催）のアシスタントとして、学芸ボランティア部が参加した。おもちゃづくりなど小学生を対象にした体験学習の補助を丁寧に指導した。

11月、中部地区公民館文化祭に、各学年から習字や教科作品を出展した。

(6) 本物を学ぶ「伝統文化体験学習」

1月12日（金）・19日（金）、2年生を対象に伝統文化体験学習を実施した。日本の伝統文化に造詣が深い、地域の方を講師に招き、基本を学ぶとともに礼儀や作法等の体験もした。本年度は6コース（茶道・華道・書道・箏曲・俳句・弓道）を開設し、日本の伝統文化の優雅さや奥深さを再発見する貴重な時間となった。

体験学習の成果（箏曲の演奏・華道・書道作品等）を、2月の「立志式」で、保護者に披露した。



伝統文化体験学習・学習活動の様子

4 成果と課題

本年度も、学校教育目標の具現化を図るために、地域の人材を活用しながら、特色ある学校づくりを推進してきた。これからも、確かな学力の向上と豊かな心を育むために、地域に根ざした学校づくりに邁進し、生徒一人一人を大切にする教育の推進を図っていきたい。